

令和二年度 最上校入学式 祝辞

最上町長 高橋 重美 様

本日、めでたく新庄北高等学校最上校に入学される二十三名の皆さんに、心からお祝い申し上げます。

最上校は七十年を超える長い歴史を持ち、小規模校ではありますが特色ある学校です。

社会貢献活動として永年にわたり取り組んできたボランティア活動では、山形新聞社の「愛の鳩賞」を二度も受賞しています。また、介護職員初任者研修を実施していただいております。在学しながら介護職員としての基礎的な資格を取得することも可能となっています。

スポーツ面においても、冬季オリンピックのスキー競技に三人の卒業生が出場するなど、その活躍は大いに称賛されるものです。皆さんも先輩の後に続き、持てる力を大いに発揮してください。

これからの最上校での三年間は、大人になって世のため、人のために働くことのできる人間になるために自分を磨く大事な期間です。自分という原石を、自分に合うような色や形に磨いて大きく成長して下さいを願っております。

保護者の皆さま、お子様のご入学まことにおめでとうございます。

最上校の先生方は、とても熱心に生徒の声に耳を傾け、寄り添い、一人一人の個性に合わせた教育に責任を持ってあたってくれます。どうか安心してまかせて下さい。

結びに、私たちはこの最上町に新庄北高等学校最上校があることを誇りとし、町民あげて、応援していくことを約束いたしました。お祝いの言葉とさせていただきます。

本日は、誠におめでとうございます。